

6月

新着図書

ファイア・ドーム 上

著者名： 辻村 深月
出版社： 小学館

人はなぜ大きな事件に魅了されてしまうのか
噂は、軽薄な娯楽だ。
25年前、平穏だったはずの地方都市は、百貨店受付
嬢誘拐殺人事件の発生、その報道により揺り動かさ
れ、「噂」という大量の炎が、加害者のみならず被
害者にも降り注ぎ、燃えさかった。ようやく静けさ
を取り戻したかに見える町に燃り続ける因縁が、い
ま新たな事件を呼び起こす――。
「もう言われてるよ！ どうせ、親が殺したんだろ
うって！」――本文より

ファイア・ドーム 下

著者名： 辻村 深月
出版社： 小学館

お前の家は、人殺しだ。

真実を知っても、人は忘れていく。

25年前の夏、この町には炎が降り注いだ。百貨店受
付嬢誘拐殺人事件という、身近で突然起こった全国
レベルのニュースを、誰もがいつまでも終わらせた
くなかった。傷ついた人をさらに傷つけてしまった
土地に、事件の火の粉は、まだ残っている。夏の
日、写生遠足の帰りに姿を消した少年は無事に帰っ
てくるのか？ 25年前の事件には、「まだ明かされ
ていない」事実が本当にあるのか？

月がきれいな夜に、誰かに思い出してほしかった

著者名： 川代 紗生
出版社： サンマーク出版

いつも、二番目。
私を一番に思ってくれる人は、誰もいない。
それでも私は――ひとりぼっちじゃ、なかった。

桃子が働いているのは、三軒茶屋の小さな喫茶店、
「雨宿り」。
ここでは、毎週金曜夜十時、“元カレごはん埋葬委
員会”が開かれる。失恋相手との思い出のごはんが
作れなくなった人たちが、その恋を「埋葬」するた
めに集まる場所だ。
モウハラを受けているのに、相手に好かれるように
振る舞ってしまうかれん、
推しが結婚してつらくても平気なふりをする美穂、
二股をされても「彼以上に成長させてくれる人に会
える気がしない」と悩む夏希、
「初デートで牡蠣を食べようと誘われたら、脈な
しってことですよ？」と思い出を語る黒田……
相談者たちの失恋の話を聞き、
思い出の料理をつくって共に食べるうち、桃子は気
づいていく。
誰かに選ばれないからといって、足りていない人間
なわけではない、と。
元カレごはん埋葬委員会。
誰かのために帰る場所が、ここにあり。

鎌倉駅徒歩8分、空室あり

著者名： 越智 月子
出版社： 幻冬舎

男手一つで育ててくれた父が亡くなり、鎌倉のカ
フェを引き継ぐことになった香良。人見知りのせい
か、経営はなかなかうまくいかない。そんな時、離
婚した親友が押しかけてきて、気づけばシェアハウ
スを始めることに。でも、入居希望者は、個性豊か
な訳ありばかり。そんな住人たちを香良は淹れたて
のコーヒーと美味しい賄いカレーでもてなします。

すべてが円くなるように

著者名： 原田 マハ
出版社： 幻冬舎

貝は海からの贈り物。
真珠には、
不思議な魔力が潜んでいる。
祖母と孫、母と娘、女友達――。
真珠がつなぐ人生と夢を描く、
極上の短編集。
展覧会を一目見ることできたら、フェルメールに
捧げる物語を書くときめ、作家の私はアムステルダ
ムに向かった。（「フェルメールとの約束」）
パリで設計事務所を営む祖母に憧れ、建築の勉強を
している杏樹。祖母からシャルロット・ペリアンの
写真を見せられ、衝撃を受ける。（「あの日のエー
ル」）
リタ、碧海、芦花はハーバードの同級生。メトロポ
リタン美術館の学芸員であるリタの企画展のため久
しぶりに鳥羽で集まることに。（「海からの贈り
物」） ほか

鎌倉駅徒歩8分、また明日

著者名： 越智 月子
出版社： 幻冬舎

鎌倉の古い洋館でシェアハウスを始めた香良。家を
飛び出してきた親友の三樹子と、愛犬と暮らす少し
神経質な里子、嫁に嫌われ自分の家から追い出され
た千恵子……。そんな、どこにも居場所のなかった「
訳あり」住人たちと、喧嘩をしながらも穏やかに暮
らしていたが、楽しい日々も永遠には続かない。
『鎌倉駅徒歩8分、空室あり』、待望の続編。